



●病院理念●

社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します

ホームページ <https://hospital.ompu.ac.jp/>

病院ホームページ



発行
大阪医科薬科大学病院



恭賀新春



新年のごあいさつ

病院長 南 敏明



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

2022年を振り返りますと、1月に当院は「日本医療機能評価機構 病院機能評価 一般病院3」に認定されました。これは「患者が安心して医療を享受でき、職員が働きやすく、地域に信頼される病院づくりに貢献する」という最も厳しいとされる評価項目で、特に指摘事項なく認定を受けることができました。2021年には米Newsweek誌のベストホスピタルに大阪医科大学病院として選出され、2022年にも同誌のベストホスピタルに大阪医科薬科大学病院として選出されています。

2027年に迎える大阪医科大学創立100周年記念事業、病院新本館建築は「超スマート医療を推進する大学病院」を基本方針に掲げて工事が

順調に進行しています。2022年7月1日、病院新本館A棟が開院いたしました。最新設備を導入した12階建てで、その1階には三次救急機能を有した大阪医科薬科大学病院救命救急センターが新設されました。最上階の12階には先進的な「がん」に特化したがん医療総合センター(化学療法センター・緩和ケアセンター・がん相談支援センター)、がんゲノム医療管理室、遺伝カウンセリング室、プレジジョン・メディスンセンターが配置されています。また、病棟リハが有効な循環器内科・脳神経外科の各病棟内にはリハビリテーション室が設置されています。2016年3月に開院した中央手術棟では、医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士・中央材料室・物流・施設・事務によるチーム医療が実践され、24時間断らない手術室を運営しています。24時間断らない救命救急センターと24時間断らない手術室との連携はスムーズで超緊急手術が施行されています。

現在、以前の手術室・集中治療室があった中央診療棟の解体工事中です。2023年7月に病院新本館B棟建築が着工となり2025年7月にB棟が完成いたします。今後2年6カ月の間、工事のために動線が長く複雑となりご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、2023年1月9日(月・成人の日)は通常通り開院いたします。少しでも気になることがあれば、休日ですのご利用しやすいかと存じます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



謹んで 新春のご挨拶を 申し上げます

看護部長 中山 サツキ



昨年は新型コロナウイルス感染症も収束に向かうのではと期待しておりましたが、残念ながら第6波、7波の感染急拡大があり、大阪でも2月と7月に医療非常事態宣言が出される状況がありました。ただ、ウィズコロナではありますが、昨年10月以降は海外からの観光客の入国制限の緩和や屋外でのマスク不要の推奨等、非日常が徐々にコロナ禍以前の日常に戻りつつあると思えることも増えてきました。ようやく今年こそは、という希望も持てるのではないかと感じています。

また、昨年はロシアとウクライナの戦争をはじめ、円高や物価上昇、北朝鮮のたび重なるミサイル発射など、世界情勢の緊迫が身近な生活に大きく影響してきた年でもありました。近年は、変化が激しく、あらゆるものをとりまく環境が複雑性を増し、将来を予測するのが困難な状態というこ

とで、Volatility (変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)という4つのキーワードの頭文字をとってVUCA (ブーカ) 時代と言われています。

そのような中で当院におきましては、新たな変化として本館A棟が完成し24時間体制で高度な救急医療を提供する救命救急センターも始動いたしました。医師・看護師に加え救急救命士も配置されており、多職種で一丸となって皆さまのご期待に添える救急医療が提供できるよう努力しております。

一方、コロナ禍の対応といたしましては、引き続きご面会の制限や入院前のPCR検査のご協力をお願いする等、未だ先の見えない状況が続いております。入院しておられる方の中にはワクチンを何度接種してもコロナ感染しやすい、あるいは感染した場合に重症化しやすい方もおられるため、こういった対応をせざるを得ず、ご不便をおかけしております。こうした状況につきまして、皆さまのご理解とご協力に、あらためまして心から感謝申し上げます。

今年、令和5年はうさぎ年(卯年)です。飛び跳ねるウサギのイメージ通り、飛躍や向上の年と言われる一方、「卯」は植物の成長を意味し、新しいことに挑戦するのに適した年であるそうです。皆さまにおかれましては、本年が新たな希望に満ちた飛躍と成長の一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうかよろしくお願ひいたします。

高須 朗 救命救急センター長 総務大臣表彰 受賞のご報告

高須 朗 救命救急センター長(救急医学教室 教授)が総務大臣表彰を受賞しました



「救急の日」の2022年9月9日(金)、令和4年度の救急功労者表彰として、高須 朗 救命救急センター長(医学部 救急医学教室 教授)が、総務大臣表彰を受賞しました。

今年度の総務大臣表彰は、個人表彰14名及び団体表彰1団体となっています。

大阪医科薬科大学病院では、2022年7月1日に三次救急を担う救命救急センターを設置して、三島医療圏の最後の砦となるべく、24時間迅速な患者さんの受け入れに努めております。今後もさらに三島医療圏の救急医療体制の充実と発展に努めてまいります。

肝疾患センター 公開市民セミナー開催のご報告

「脂肪肝の正しい知識」・「脂肪肝と食生活」 についての講演:10/1(土)開催

肝疾患センターでは大阪府肝疾患診療連携拠点病院として肝臓病についての理解を深め、日常生活に対する疑問や病気に対する不安を解消するため、年1回市民公開セミナーを開催しています。

今年度は10/1(土)に新講義実習棟P101において、「脂肪肝」をテーマに消化器内科医師で肝疾患センター長の福西医師が「脂肪肝の正しい知識」についてと、栄養課の尾籠管理栄養士が「脂肪肝と食生活」について講演いたしました。

コロナ禍で市民公開セミナーはWEBでの開催が多くなっておりませんが、事前申込制・マスク着用・手指消毒など、感染対策に十分配慮を行い対面で開催いたしました。

当日は92名の方が参加され、アンケートでは「脂肪肝を甘くみていました。アルコールや食生活を見直します」、「即実践できるものもあり大変よかった」、「一度肝臓をちゃんと検査して欲しくなりました」との感想も頂き、市民の皆さんに脂肪肝のことを十分に知っていただける機会となったと思います。



福西 肝疾患センター長



尾籠 管理栄養士



大阪医科薬科大学病院 ボランティアグループ「ふれあい」の活動状況のご報告

9月以降、各種グループ(エコキャップ・季節の飾り・グリーン・縫製・使用済み切手収集・通信・押し花・絵手紙)活動を行うことができました。

11月10日~22日、高槻市役所 桃園ギャラリーにて、ボランティアグループ「ふれあい」の作品展示を行いました。

本院は高槻市の花いっぱい事業に参画しており、11月18日に、高槻市より頂いた花苗を院内に植栽いたしました。



高槻市役所 桃園ギャラリーでの作品展示



高槻市より頂いた花苗を院内に植栽

大阪医科薬科大学病院 がん患者サロン **ひだまり**

2023年度 オンライン開催予定

参加費無料 事前申込要



ホームページはこちら



がん患者さん同士で語り合しましょう!

開催予定日

2023年 2月18日(土)

10:00~12:00(9:45~接続可能)

交流会 (おしゃべり会) 60分

ミニ勉強会 30分

病気や治療、経済的な問題など、お一人で悩むことなくがん患者さん同士、ご家族同士で語り合い、支え合うことのできる場として、がん患者サロン「ひだまり」をオンラインで開催予定です。パソコンやスマートフォンの操作に不安がある方のために、サポート体制も整えております。ぜひお気軽にご参加ください。

勉強会テーマ

「自分でできるこころのケア」 公認心理師

●詳細は病院ホームページや院内掲示にて順次ご案内します
●日程や内容は変更になる場合があります